

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 02 学校教育の充実

主管課長職・氏名	学校教育指導課長 和田 英
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 和田 英

1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	目指す学校像として「正義」と「信頼」の学校を掲げ、子どもたちが安心して生き生きと生活できる学校づくりを目指します。また、「生きる力」を育てる学習指導要領の趣旨を踏まえ、滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」を育成するため、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図る中で、子どもたちが学ぶことの幸福感を味わえるような学校教育を目指します。							
--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %	68.8	75	75	75	81.3	81.3	A
			68.8	87.5	-	-	-	149.6
2	幸福 仲の良い友達の数 単位 人	6.06	6.5	7	7.5	8	8.5	C
			5.39	6.09	-	-	-	1.2
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 05020100 確かな学力を育む教育の推進 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %	68.8	75	75	75	81.3	81.3	A
			68.8	87.5	-	-	-	149.6
2	暮らし 05020100 確かな学力を育む教育の推進 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校） 単位 %	50	58.3	58.3	58.3	66.7	66.7	A
			41.7	58.3	-	-	-	49.7
3	幸福 05020100 確かな学力を育む教育の推進 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %	49.9	52	54	56	58	60	B
			51.6	53	-	-	-	30.7
4	暮らし 05020200 豊かな人間性や社会性の育成 1年間無欠席の児童生徒の割合 単位 %	41.8	42	42	42	43	43	A
			43.1	42.4	-	-	-	50.0
5	幸福 05020200 豊かな人間性や社会性の育成 仲の良い友達の数 単位 人	6.06	6.5	7	7.5	8	8.5	C
			5.39	6.09	-	-	-	1.2

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 ： 05 一人一人が学ぶよるこびを実感できるまちを目指します

基本施策 ： 02 学校教育の充実

主管課長職・氏名	学校教育指導課長 和田 英
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 和田 英

2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力を育む教育の推進」については、わかる授業の推進、家庭学習の充実などを推進し、数値は向上してきておりますが、家庭との連携を図りながら取り組みをさらに充実させてまいります。 「豊かな人間性や社会性の育成」については、市教育振興運動を中核として、学校、家庭、地域の連携による取り組みを進めております。数値は目標値に近づいてきておりますが、今後も自己肯定感を高める指導・支援を継続してまいります。 「健康・安全活動の支援」については、登下校中のスクールガードによる不審者対策、健康診断や学校環境衛生検査等を適切に実施しております。今後も健康且つ安心して学べる環境作りを継続してまいります。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>確かな学力を育む教育の推進</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <p>学力検査等の実態把握と分析、それに基づいたわかる授業の推進は充実してきていますが、授業と連動した家庭学習については達成が十分とは言えない状況です。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>学力向上については、次期学習指導要領の内容が明らかになり、道徳の教科化、小学校3年生から6年生での外国語活動の実施等が示され、それへの対応について市民の関心・要望が高まることが予想されます。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策「一人一人が学ぶよるこびを実感できるまちを目指します」の中の、主体となって学び、つながり、受け継ぐ部分は学校教育が担っているところです。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>施策目標指標においては数値の向上が見られてきましたが、さらに家庭や地域と連携した取り組みを推進していく必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <p>「確かな学力を育む教育の推進」を重点としながらも、それを支える「豊かな人間性や社会性の育成」や「健康・安全活動の支援」の取り組みを、さらに充実させていく必要があります。</p>	

